

計測工学科卒業 50 周年の集い

平成 28 年 5 月 19、20 日に名鉄犬山ホテルおよび名工大で開催した。参加者の写真を示します（敬称略）。

起

昭和 41 年春に母校を卒業し、それぞれが自分の道を歩いて 50 年。この節目の年に、往時を偲び、今を語りながら将来の夢に乾杯した。

春の叙勲を受章された恩師・小和田先生を中心に、北は北海道から南は広島まで、全国から 12 名の同級生が集まり、1 泊 2 日で開催。

承

平成 28 年 5 月 19 日、初夏の爽やかな日に、名鉄犬山ホテルに集合。「お久しぶり！俺の名前を覚えているか！」という懐かしい声を聞きながら開宴。

9 名の物故者に黙祷した後、全員でグラスを掲げて乾杯！小和田先生のスピーチを皮切りに一人ずつ近況報告や思い出スピーチ。話の内容と話し方の個性に、往時の姿を思い出して拍手しながら傾聴。

宴の後、カラオケルームに移動し、小和田先生の「くちなしの花」から始まって皆さんの得意の 1 曲を聞きながら乾杯！乾杯！

その後、幹事の部屋で車座になってビールを飲みながら深夜まで歓談。

転

翌 5 月 20 日、母校を訪問。学内を散策してから鵜飼学長を表敬訪問。鵜飼学長は、計測工学科の 12 年後輩と知って親しみを感じた。

社会に出て即戦力となる人財を育成するために名工大改革に挑戦されている。「道半ばですが」という切り出しで鵜飼学長の取組みを拝聴した。

改革の骨子は、現行の「4 年制大学」を「6 年制大学」に改編して専門分野のみならずグローバルな競争に打ち克つ人財を育成すること。

ぜひ世論を味方につけてやり遂げて欲しいとエールを贈った。

結

50 年ぶりの邂逅は、会った瞬間に全員がタイムスリップして楽しく過ごし、母校の立派な姿と鵜飼学長の素晴らしい挑戦にも感動した。

今回は喜寿を迎える 3、4 年後に開催することを全員で約束して散会。今回以上の多くの出席者で喜寿の祝いを開催したいものである。

計測工学科昭和 41 年卒[F41 会] 幹事：河合良彦・清水彊・三田村好矩

